

4月28日（木）に、2、3年福祉コースの生徒を対象に、管理栄養士による講話が行われました。富山市保健所の管理栄養士 玉扶持春実さんより、今の職に就くようになった経緯や管理栄養士の仕事の内容について話していただきました。

＜生徒の感想＞

- ・管理栄養士は、人の命にも関わるとても重要な仕事で、食のバランスが如何に大切なものなのか改めて感じた。
- ・病院では、栄養サポートチームがあり、医師や看護師以外にも、管理栄養士や理学療法士なども参加して、患者さんの回復に貢献している。医療の現場は、特にたくさんの人との連携が大切だと思った
- ・箸の使い方を忘れてしまい、手でつかんで食事をしてしまう方には、手づかみでも食べられるようにおにぎりをメニューに加えたりしている。この話を聞いて食事の楽しさを忘れないでほしいという思いが伝わってきた。
- ・管理栄養士は室内での仕事しかないものだと考えていたが、山に登り山小屋の衛生管理のチェックしに行くことを初めて知った。



